

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

薬機法の改正によって薬局の定義が変わり、調剤だけでなく、情報提供や薬学的知見に基づく指導の業務を行うことになりました。そのため、先日開催された厚生労働省の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」では、「調剤薬局」という呼び方ではなく「保険薬局」と呼ぶことなど、幅広く議論されました。

また、薬学部でも最新の臨床現場を理解し、チーム医療を実践するために、他学部との連携を取ることが求められています。今年の春には和歌山県立医科大学に薬学部が創設され、大阪薬科大学と大阪医科大学が統合して大阪医科薬科大学になりました。さらに来年の春には兵庫医療大学が兵庫医科大学と統合して、兵庫医科大学薬学部になるそうです。このように連携が取れるようになった大学が増えている一方で、単科大学はどのように他学部と連携を取っていくのが課題となります。

さらに合格率も大学に都合の良い数字を出すのではなく、ストレート合格率が大切だという話も出ています。卒業延期生や卒業留年生を増やし、国家試験の合格率を良くするのではなく、ストレートでそれだけの人が合格したのかを評価するということです。

薬学部の偏差値の低下が止まらないことから定員削減の話も出ていますので、薬学部の状況は厳しくなるかもしれません。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子